

PROFILE

南三陸町 企画課
佐藤 守謹 さん
長崎県南島原市より南三陸町に派遣

the 応援職員

NOW IS.

南三陸

Minamisauriku



志津川湾に昇る朝日は絶景。無心にシャッターを切り続けます。



日本初！ASC国際認証を取得した南三陸のカキ。この町に来て好きになりました。



「笑顔」でいてもらいたい

「小学生の時に、火山灰で校庭での体育ができない時もありました。幼いながらも自分の身近に災害は起こるんだと認識しましたね。そして、多くの方々に支援してもらったことを覚えていまず」と話す佐藤さんは、2015年4月に長崎県南島原市から派遣職員として南三陸町に来ました。南島原市は、2018年6月に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録が記憶に新しいですが、90年代初めに雲仙普賢岳の噴火が起こっています。派遣職員に志願したのは、恩返しへの想いもあつたそうです。

「私もいつかは南島原市に戻ることにあります。南三陸町の魅力だけではなく、学んだことや感じたことを伝える事も使命だと思っています。震災の記憶を残し、伝えていくことは備えにつながると思っています」と佐藤さんは話してくれました。

とが多かったそうです。南三陸町のことをもっと知りたいと、休日は農作業のボランティアも。「最低でも2年はいるつもりでしたが、気が付けば今年で4年目です」と佐藤さんは、ほにかみながら話します。現在は、同じ企画課の中でも広報紙の発行や町長の記者発表の対応などの広報関連の業務に携わっています。

info/area

{エリア情報} 復興や防災にまつわるニュースをお伝えします



南三陸復興市

2011年4月29日、東日本大震災の被災者を励まそうと、南三陸町の商店主らが避難所になっている中学校の校庭で開いた「福を興す(おこす)市」。現在は、毎月最終日曜日開催が恒例となりました。全国の商店街仲間が協力して出店し、名産品などを販売しています。

- 第87回 牡蠣まつり福興市/日時:2月24日(日)9:00~13:00(予定)
- 第88回 牡蠣・わかめまつり/日時:3月24日(日)9:00~13:00(予定)
- 場所:南三陸町旭ヶ浦8(志津川仮設魚市場特設会場)
- 問 090-7077-2550(南三陸復興市事務局)



南三陸町の志津川湾がラムサール条約湿地に登録されました

藻場の多様性や、希少な水鳥の重要な越冬場所であることが評価され、2018年10月18日、国際的に重要な湿地を守る「ラムサール条約」に登録されました。海藻藻場の湿地として国内では初めての登録です。南三陸町は、これからも豊かな自然を生かした持続可能なまちづくりが続けられます。

今月のガイド



南三陸復興ダコの会/YES工房 会長

おおもり たけひろ
大森 丈広 さん



「頑張っている人に、頑張れ」では無くゆる〜く、そっと応援する。それが合格祈願の縁起ものであるオクトパス君のコンセプトです。YES工房は震災後、地元の人々の雇用と交流の場としてスタートしました。工房は現在、12人のスタッフが「オクトパス君」「まゆ細工」「木工製品」といった南三陸町の資源を活用しています。

「頑張っている人に、頑張れ」のグッズの製作販売を行ったり、モノづくりの体験学習の場として年間1000人以上の方々が訪れる場になっています。「オクトパス君」が南三陸のおみやげとして定着し、全国にファンが増えたくても、工房に届く手紙には手書きでお返しするなど「気持ちを気持ちで返す」ことを大切にしています。